

御見積書

令和2年7月3日

医療法人 ○○○○ 殿

宛先は、代表事業者であること。但し、代表事業者がリース会社である場合は、共同事業者（導入設備運営者）でも構わない。

件名： ○○○○病院 温泉熱利用のヒートポンプシステム設備導入工事

工事場所 △△県○○市丸の内1-1

必ず社印等を押印する事。

△△建設株式会社

代表取締役 ○○○○ 印

〒YYYY-YYYY

△△県○○市XX2-2-2

TEL XXX -XXX -XXXX

件名は実施計画書の事業名などを引用するなどして、本補助事業の見積であることが容易にわかる件名を記入する。

金額 101,090,000円

内 工事代金 91,900,000円

消費税 9,190,000

見積有効期限： Xヶ月

必ず有効期限を明記し、交付申請時点で有効期限内であること。

本紙は見本であり、書式・体裁は自由。但し、記載内容が不十分とならないよう留意。

複数年度にまたがる場合でも、令和2年度のみを添付する。

様式第1別紙2-1経費内訳と照合できるように共通の番号等を記入する。

経費内訳 令和2年度

NO.	工種名称	数量	単位	金額	備考
1	設備費	1	式	56,218,400	<1>
2	工事費				
3	本工事費				
4	(直接工事費)				
5	材料費	1	式	16,197,000	<2>
6	労務費	1	式	12,099,080	<3>
7	(間接工事費)				
8	共通仮設費	1	式	1,204,000	<4>
9	現場管理費	1	式	2,441,930	<5>
10	一般管理費	1	式	2,739,590	<6>
11					
12	補助対象経費 計			90,900,000	
13					
14	補助対象外			1,000,000	補助対象外
15					
16	合計			91,900,000	
17					
18					

この金額を様式第1別紙2経費内訳の(4)補助対象経費支出予定額欄に記入する。

総事業費の中に補助対象外経費があれば記入する。

この金額を様式第1別紙2経費内訳の(1)総事業費欄に記入する。

補助対象外経費であることを明記する。

50万円以上の機器はメーカー・型番を明記する。積算した数量と単価を示す。

設備単価の根拠を明記する。

1 設備費								
NO.	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考	
1	源泉熱対応水冷式ヒートポンプ	A電気製 ABC-XXXXXXXX-XX-X	1.0	基	18,500,000	18,500,000	A電気の見積書	
2	熱源自動制御盤	B電気製 BC-XXXXXXXX-XX-X	1.0	基	6,500,000	6,500,000	B電気の見積書	
3	熱源水槽 WT-1	C製作所製 CE-XXX-YY SUS保温パネルタンク aXbXc H d m 3 e mm	1.0	基	3,687,000	3,687,000	C製作所の見積書	
4	源泉槽 HT-1	C製作所製 CE-XXX-YY FRP保温パネルタンク fXgXh H i m 3 j mm	1.0	基	10,085,200	10,085,200	C製作所の見積書	
5	貯湯槽 HT-3	C製作所製 CT-XXX-YY SUS保温パネルタンク kXlXm H n m 3 o mm	1.0	基	3,817,900	3,817,900	C製作所の見積書	
---途中省略---								
21	小計						56,218,400	

2 直接工事費 材料費								
NO.	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考	
1	(1-1)源泉設備材料費一式	耐熱性硬質塩化ビニール管 他一式	1	式		1,692,400		
2	(1-2)源泉加温設備一式	給湯用塩ビライニング鋼管 他一式	1	式		1,018,670		
3	(1-3)給湯設備一式	水道用硬質塩ビライニング鋼管 他一式	1	式		2,870,240		
4	(1-4)熱源設備一式	配管用炭素鋼管(白) 他一式	1	式		2,438,470		
5	(1-5)温水設備一式	配管用炭素鋼管(白) 他一式	1	式		1,718,870		
6	(1-6)自動制御機器一式	圧力センサー 他一式	1	式		3,137,590		
7	(1-7)動力計装設備一式	電線 他一式	1	式		3,320,760		
8	小計						16,197,000	

材料費内訳

(1-1)源泉設備工事 材料費明細								
NO.	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考	
1	耐熱性硬質塩化ビニール管	HTVP-75	195.0	m	3,360	655,200	建設物価/20**→月号 Page***	
2	硬質塩化ビニール管	VP-100	8.0	m	1,600	12,800	建設物価/20**→月号 Page***	
3	硬質塩化ビニール管	VP-75	2.0	m	1,080	2,160	建設物価/20**→月号 Page***	
4	硬質塩化ビニール管	VP-65	4.0	m	700	2,800	建設物価/20**→月号 Page***	
5	バタフライ弁(ギア式)	L-GUE 80A 10K	3.0	個	16,950	50,850	建設物価/20**→月号 Page***	
---途中省略---								
19	小計						1,692,400	

(1-2)源泉加温設備工事 材料費明細							
NO.	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
1	給湯用塩ビライニング鋼管	HLP 50A	102.0	m	4,300	438,600	建設物価/20**→月号 Page***
2	青銅コア入ゲート弁	JIS 5K 50A	10.0	個	15,150	151,500	建設物価/20**→月号 Page***
---途中省略---							

3 直接工事費 労務費

1	(2-1)源泉設備工事費		1	式		1,380,300		
2	(2-2)源泉加温設備工事費		1	式		700,070		
3	(2-3)給湯設備工事費		1	式		1,520,020		
4	(2-4)熱源設備工事費		1	式		1,449,020		
5	(2-5)温水設備工事費		1	式		1,314,410		
6	(2-6)動力計装工事費		1	式		5,735,260		
7	小計						12,099,080	

労務費内訳

(2-1)源泉設備工事費明細								
NO.	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考	
1	埋設・埋戻し		7.0	工	17,400	121,800	公共工事設計労務単価 20XX年7月 XX課 普通作業員 標準	
2	配管工事		35.0	工	19,100	668,500	公共工事設計労務単価 20XX年7月 XX課 配管工 標準	
3	保温工事		31.0	工	19,200	595,200	公共工事設計労務単価 20XX年7月 XX課 保温工 標準	
4	値引き						-5,200	
5	小計						1,380,300	
(2-2)源泉加温設備工事費明細								
NO.	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考	
1	配管工事		22.0	工	19,100	420,200	公共工事設計労務単価 20XX年7月 XX課 配管工 標準	
2	保温工事		15.0	工	19,200	288,000	公共工事設計労務単価 20XX年7月 XX課 保温工 標準	
3	値引き						-8,130	
4	小計						700,070	
---途中省略---								

4 間接工事費

NO.	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
1	共通仮設費		1	式		1,204,000	
2	現場管理費		1	式		2,441,930	
3	一般管理費		1	式		2,739,590	
4							
5							

5 補助対象外

NO.	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
1	廃棄物処理費		1	式		700,000	補助対象外
2	資料作成費		1	式		240,000	補助対象外
3	共通仮設費		1	式		20,000	補助対象外
4	現場管理費		1	式		20,000	補助対象外
5	一般管理費		1	式		20,000	補助対象外
6			小計			1,000,000	

補助対象外経費があれば内容・数量・金額を記入する。補助対象外の間接工事費（共通仮設費、現場管理費、一般管理費）も明記する。

補助対象外経費であることを明記する。